

## 呑川レポート（7月3日）

呑川の会

梅雨が空けたと想ったら、暑い毎日です。台風(4号)が涼しさを連れてくるのでしょうか？

呑川には夏季を彩る花が多く見られますが散歩は熱中症に注意しましょう。今回は上流部に見られる植物情報です。

### ○ネムノキ(合歓木)



ネムノキ（山下橋）



岩垂草・クラビア（工大橋）

呑川で見られる「ネムノキ」は山下橋の近くの本が最大です。マメ科、この種は四季咲きともいわれますが今が綺麗な開花を見せています。落葉広葉樹、花期 6～8 月、ピンク色は多数の雄しべ、長い白色は雌しべ。葉は夜眠る（小葉片は重なり合うことから、合歓木という漢字の由来）。樹高は 3～10m、枝は盃状に広がる。果実は薄い豆果。



ネムノキ（山下橋）



クラビア（工大橋）



ヒオウギズイセン（雪の橋）

**○クラビア(岩垂草)**クマヅラ科。2018年の防護柵整備で植えられた。多年草、グランドカバーとして人気がある。白い小さな花、開花は5～10月、12～3月休眠する。成長が早い。

**○ヒメヒオウギズイセン(姫檜扇水仙)**アヤメ科、多年草、南アフリカ原産、花期7～8月、草丈0.5～1.0m、鮮やかな朱色花が目を引き、塊状の地下茎が分かれて広がり。繁殖力も旺盛、外来種で野生化している。お盆のころに盛んに咲くので、盆花としても利用される。栽培禁止の指定された県もある。



ランタナ（一の橋）



ヤナギバルイラソウ（本村橋）

**○ランタナ(七変化)**クマヅラ科、常緑低木、耐寒性弱い、中南米原産、鮮やかな色の花を付ける。茎には細かい棘があり。草丈30～100cm、開花は5～11月、花色は白、ピンク、オレンジ、黄色などあり徐々に変化してゆく。世界の侵略的外来種の100種に選ばれている。

**○ヤナギバルイラソウ(柳葉ルイラ草)**キツネノマゴ科、多年草または低木、メキシコ原産、草丈50～100cm 葉腋から花茎を出しその先に紫色の一日花を咲かせる。花径5cm。呑川河床に増えている。

**\*河床・藻の発生状況**



（島本橋附近）



（久根橋附近）



マガモ（八幡橋）

今年の河床は例年より藻の発生が多く見られます、所々水面より盛り上がっているのが見られます。藻は台風  
の雨で流下してしまうのでしょうか？

**\*野鳥の情報**

みどりの頭に黄色の嘴が特徴のマガモの雄、北へ帰りそこねたのでしょうかカルガモと一緒にいます。羽を痛めているのでしょうか？注意して観察中。